

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者住宅等安心確保事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携および各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。また、毎年1回、高齢者住宅等安心確保連絡協議会を開催し、生活援助員の質の向上に努めている。		
29年度概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	シルバーハウジングの入居者
意図（どのような状態にしたいか）	シルバーハウジングの入居者が、自立して安全かつ快適な生活を営むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
生活援助員勤務延日数	日			972	972	972

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	生活援助員への相談件数	件	目標値			4,400	6,500	6,500
			実績値			6,587		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 生活相談員による入居者への生活相談等を実施することにより、入居高齢者の安心を確保することができている。 (目標達成度)							(達成度) 149.7%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	10,089	10,319	21,687	21,454
（事業費）	[円]	8,687	8,860	9,125	8,892
（職員人件費）	[円]	1,402	1,459	12,562	12,562

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
事業開始当初に比べ入居者の高齢化が進み、支援の必要な人が増加している。生活援助員だけでなく医療、介護、福祉等の関係機関との連携を含めた地域全体での一体的な取り組みが必要となってきている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
地域包括ケアの観点から、高齢者の住宅を確保し、生活を支援する必要があるが、他の取組との関係を整理する中で、内容等の見直しを検討する必要がある。			